

## セミナー質疑応答メモ

### 質問 1：

通信インフラが整備されてないところが多いということが留意点として挙げられていたが、データ通信料を要求しないサービスであれば適応可能という認識で大丈夫か？

### 回答

- ①エチオピアではショートメッセージでのやり取りで成り立っているサービスも多数ある。インドではインターネットキヨスクがあり、そこからサービスを届けることは可能だ。
- ②オフラインで使えるようなサービスを検討してもらう。ラジオやテレビにはアクセスできる農家さんも多いのでマスメディアを検討する手もある。

### 質問 2：

ブラジルの小規模農家たちが集まる農協に資金力があれば、そこをターゲットにできる。ブラジルにおける小規模農家の農協について教えてほしい。

### 回答

小規模農家の定義が異なり、地域・栽培作物によって異なるが、果樹や野菜は小規模農家が多い傾向だ。そういう農家が参加する組合であれば、小規模農家の組合になるだろう。そういった農家へのスマート農業技術の普及がまだ遅れているという情報があるため、隙間やニーズがあるだろう。ただし、ブラジルは広大で多くの組合が存在するため詳細は調査が必要だ。日系の組合も存在するためそこでも可能性があるだろう。

### 質問 3：

諸外国で農業分野の投資が積極的な地域や国はどこか？

### 回答

- ①例えば、ブラジルではデジタル技術を用いてサービスを提供している企業に対して投資している企業が出てきている。農薬製造会社がスタートアップ企業に投資して将来的な上場利益を得たり、あるいは成長した際に自分の会社に取り込んでしまうなどの投資は盛んだ。
- ②政府で SFC 関連投資に積極的なところといえば、まずタイ、あるいはベトナムなども国家政策の中で SFC を視野に入れた取り組みがある。ブラジルも SFC 関連は課題で政府としては中小農業者を応援していきたいと考えているようだ。ただし、種子の面では難しいという情報も得ている。エチオピアは政府、国営企業が主体となって取り組みを進めているのが

特徴だ。対してナイジェリアは基本的に民間にまかせている。ソリューションの統合は新しい課題かもしれないという情報を得ている。

**質問 4 :**

タンザニアの水産業界のバリューチェーンについて教えてほしい。

**回答**

タンザニアの内水漁業、ティラピアの養殖等について調査が間に合っていないが、追加情報として提供したい。JICA のフォームのほうに質問として残しただけであれば幸いです。

**質問 5 :**

トマトの通年栽培でアジアの対象国はあるか？

**回答**

こちらはバングラディッシュから出てきている課題。国土が狭く人口密度が高く、氾濫原の洪水が多く、農地が限定的であるため、通年栽培が可能性がある。